



平成23年(2011年)
1/1
第1241号

発行：小平市
編集：企画政策部
秘書広報課
〒187-8701
小平市小川町二丁目
1333番地
☎042(341)
1211(代表)

市報 こだいら



第36回障がい者作品展・あすなるの家出品

◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール info@city.kodaira.lg.jp



迎春



第50回東京都吹奏楽コンクールで招待演奏をした小平第三中学校吹奏楽部の皆さん（ルネこだいら 日本一の丸ポスト前にて）

新年明けましておめでと
うございます。
皆様におかれましては、
今年も、あるいは、今年こ
そはとの思いで新年を迎え
られたことと存じます。
昨年さまざまな行事に
参加させていただき、多く
の感動を覚えることができ
ました。市民活動支援セン
ターのNPOフェスタで
は、市民団体に、にぎわい
に加え一種緊張感のような
ものを感じました。自分た
ちが地域の主体であるとの
確信からくるものだと思
います。また、青少年対策地
区委員会の活動も各地域の
特性や関わる人たちの個性
が生かされ、地域が学校現
場を支えていることを実感
しました。そこには子ども
たちの笑い声があり、お年

新年明けましておめでと
うございます。
市民の皆様には新たな希
望と抱負を胸に、輝かしい
新年を迎えられたことお
喜び申し上げます。
また、日ごろから小平市
議会に対して格別のご理解
とご協力を賜り、市議会を
代表いたしました厚くお礼
申し上げます。
昨年はワールドカップ南
アフリカ大会が開催され、
活躍された地元FC東京の
選手が市役所を表敬訪問
し、市民の皆様へ報告をさ
れました。また、日本人が
二人もノーベル化学賞を受
賞するなど、明るい話題が
ありました。

しかし、一方でわが国の
経済状況は依然として低迷
を続け、小平市の収入の根

も、昨年は議会改革調査特
別委員会を設置して、議会
改革に関する基本的な事項
を調査・研究し、11月には
市議会初の試みとして、
「議会改革に関する報告と
市民のみなさんとの意見交



小平市議会議長
永田 政弘

幹をなす市税収入が大幅に
減となったことなどによ
り、平成16年度以来6年ぶ
りに普通交付税の交付団体
となったことは、承知のと
おりです。
市議会といたしまして

今年も厳しい財政状況の
中ではありますが、自治体
の特性、自主性、自立性を
高めて市政の事業の効率化
を図りながら、市民福祉の
向上、市民要望にも真剣に
取り組むことが私たち市議
会議員全員に課せられた責
務であることを肝に銘じ、
新たな誓いを申し上げるも
のでございます。
結びに、本年が皆様にと
りまして幸多き一年となり
ますよう心からお祈りし、
新年のごあいさつとさせて
いただきます。

今年も厳しい財政状況の中
ではありますが、自治体の
特性、自主性、自立性を
高めて市政の事業の効率化
を図りながら、市民福祉の
向上、市民要望にも真剣に
取り組むことが私たち市議
会議員全員に課せられた責
務であることを肝に銘じ、
新たな誓いを申し上げるも
のでございます。

年頭にあたって



を徹底し、最後は市役所に
頼むからと言われ、本当に
頭の下がる思いでした。自
治組織は、本来は行政が介
入せずに任せるというのが
原則ですが、今後は、原則
は維持しながらも、行政で

できることは細かくサポー
トする仕組みを検討しま
いりたいと存じます。
さて、小平市は今年で市
制施行49周年になります。
若い世代が大量に流入した
時代から人口安定期へ、そ
して高齢社会、人口減少期
を迎えて行きます。それら
を見据えて、インフラの整
備とともに新たな50年に向
けたソフト面の取り組みも
差し迫った課題です。今後
も積極的な社会参加を促
し、みずからの意志でみず
からが主体になり、豊かに
暮らしていける地域社会に
向けて頑張ってくださいま
す。

今年も皆様のご支援、ご
協力をぜひお願い申し上げ
て、年頭のあいさつとさ
せていただきます。



小平市長
小林 正則

奇りの笑顔がありました。
自治会活動にも感心させ
られました。例えば、昨年
40周年を迎えた東小川橋自
治会は、記念事業で歌や踊
り、活動記録のパネル展示
を行いました。自助・共助